



各 位

2006年10月27日

会 社 名 第一三共株式会社
 代表者名 代表取締役社長 庄田 隆
 (コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)
 問合せ先 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 高橋利夫
 (TEL. 03-6225-1126)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2006年7月31日の第1四半期決算発表時に公表した連結中間期業績予想及び2006年5月12日の決算発表時に公表した個別中間期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2007年3月期連結中間期業績予想数値の修正(2006年4月1日～2006年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表修正予想(A) (2006年7月31日発表)	480,000	65,000	72,000	46,000
今回修正予想(B)	485,500	78,000	88,000	66,500
増減額(B-A)	5,500	13,000	16,000	20,500
増減率	1.1	20.0	22.2	44.6
前年同期(2005年9月中間期) 実績	451,808	80,345	82,642	49,450

2. 2007年3月期個別中間期業績予想数値の修正(2006年4月1日～2006年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (2006年5月12日発表)	3,000	100	100
今回修正予想(B)	2,750	120	60
増減額(B-A)	-250	20	-40
増減率	-8.3	20.0	-40.0
前年同期(2005年9月中間期) 実績	816	39	23

3. 修正の主な理由

連結業績につきましては、売上高で、国内市場の主力製品が堅調であること及び米国市場で血圧降下剤ベニカーが好調なことから、前回予想より55億円増収となる見込みです。利益面では、販管費の効率化が進んでいることから、営業利益、経常利益は前回予想よりそれぞれ130億円、160億円増益となる見込です。また、海外子会社の累損解消が見込まれることによる税効果等により法人税の負担率が改善されることから、中間純利益は前回予想より205億円増益となる見込です。

個別業績につきましては、純粋持株会社であるため連結上消去され、連結業績には殆んど影響がありません。なお、通期の連結・個別業績予想につきましては、現在見直しを行っており、当中間期決算発表(11月6日予定)時にお知らせする予定です。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上